

第2期いずみさのこども未来総合計画（案）に対するパブリック・コメントまとめ

通しNo.	ページ数	章数	大分類	中分類	小分類	ご意見	回答・考え方	担当課	修正有無	修正箇所
1	P12	第2章 本市の現状と課題	2 子育て世帯やこども・若者の現状	(1)アンケート調査の実施について		こどもへのアンケート調査の回収方法がWeb回答し かないため、有効回収率がとても低く、実態を正 確に把握できているとは思えません。特に、イン ターネット環境が整っていない家庭ほどあらゆる 場面での困り感があるはずですが、アンケート調 査には表れないと思います。私は和泉市の小学校 に勤務していますが、市からのアンケートはすべ て学校のGIGA端末で子どもたちが回答をしてい ます。今後また同様のアンケートをするならば、回 収方法を見直す方がいいと思います。	一部のアンケートについては、学校のGIGA端末 を活用したアンケート回答を実施しています。い ただいたご意見を参考に、アンケート調査の手法 について検討してまいります。	子育て支援課	無	
2	P23	第2章 本市の現状と課題	2 子育て世帯やこども・若者の現状	(6)こども・若者の現状と 支援の課題について		3つ目の自分の将来について希望があるかどうか の質問の結果に「肯定的な回答が過半数」と捉え ていますが、小5と中2では中2で数値が減少し ている点を問題視しないといけないのではないで しょうか。小学校卒業から中学校進学の時期の子 どもたちの環境や心の変化をサポートできるよ うな取り組みを学校だけではなく、地域全体で考 えていかないといけないと思います。また、「こど もの権利」について知っているかどうか当事者の 若者にしかアンケート調査していないようです が、こどもの権利を蔑ろにしているのは周囲のお となたちなので、こどもや若者が情報収集するだ けでなく、おとなが「こどもの権利」について 知っているかの現状把握をしておとなの意識や行 動を変える取り組みが必要だと思います。まずは 市の職員に対して「こどもの権利」について知っ ているかどうか調査されてはどうでしょうか。	肯定的な回答が過半数となっている一方、小5と 中2では中2で数値が減少しているという指摘に ついては、今後研究を重ね、地域全体で小学校卒 業から中学校進学の時期の子どもたちをサポート する施策を検討してまいりたいと考えています。 また、「こどもの権利」についてのアンケート については、「こども基本条例」の策定の際に、 「こどもに意見を聴くアンケート調査」を市内の 学校に在学する小学6年生、中学3年生、高校2 年生を対象にアンケート調査を実施しています。 アンケート結果については、市ホームページに記 載しています。今年度は「こども基本条例制定イ ベント」などを通じて大人・こどもへの「こども の権利」に対する啓発活動を実施しましたが、庁 内での職員への啓発活動を検討するとともに、お とな、こども、関係機関に広く啓発できる手法を 検討してまいります。	子育て支援課	無	
3	P40	第2章 本市の現状と課題	3 子育て支援施策の概況	(6)地域の遊び環境の状 況について		家の周りに公園が本当にありません。新生児期 を過ぎて徐々に外に散歩に行くように言われます が、ベビーカーを押して歩いて安全に行けるよう なところがないと困っていたのに、ここには「児 童公園が16か所増えるなど、地域の遊び環境の 整備が図られています」と記載がありました。お かしいなと思って公園について調べると、私が 思っている公園とここに書かれている公園が全く 違うものだということに気づきました。私は泉佐 野市出身ではないので、地域柄なのか時代のせい なのかわかりませんが、ここでは住宅地内に作ら れたエビフライみたいな小さいこどもがのって遊 ぶ遊具が2、3個設置されている狭いスペースの こども児童公園とよぶのですね。本当にびっくり しました。そしてそういったスペースが増えたこ とで「遊び環境の整備が図られています」と堂々 と記載できることにもびっくりしました。就学前 保護者の一意見ではないですが、子どもたちは こういったスペースに満足しているのでしょう か。こどもまんなか社会を目指すならば、子ども たち自身に市内の遊び場への満足度を調査しない といけないと思います。 泉佐野市のこの計画の基本理念に「地域の支え 合いの中で」という文言を入れるのならば、地域 住民が気持ちよく集える公園（市のいう児童公園 ではない公園。街区公園？）をどの地区にも整備 してほしいです。	市では、こどもまんなか社会の実現に向けて、 子どもたちが安心して遊び、地域住民の皆さまが 気持ちよく集える公園の整備を重要な課題と考え ております。頂いたご意見を参考に、地域の特性 や子どもたちの声を反映しながら、よりよい公園 づくりに向けた取り組みを進めてまいります。	道路公園課	有	(修正前) …全体で15か所の増となっており、特に児童公園が16か所 増えるなど、地域の遊び環境の整備が図られています。 (修正後) …全体で15か所の増となっており、都市公園にインクルー シブ遊具を設置するなど、地域の遊び環境の整備が図られ ています。
4	P40	第2章 本市の現状と課題	3 子育て支援施策の概況	(6)地域の遊び環境の状 況について		「全体で15か所の増」なのに「特に児童公園が 16か所増える」とあるのはどういうことでしょ うか。	平成31年3月末時点では全体の公園数が215か所 でそのうち児童公園は162か所でした。令和6年3月 末時点では全体の公園数が230か所でそのうち児童 公園は178か所でした。それぞれの差引で全体だと 15か所の増、児童公園は16か所増となります。	道路公園課	無	
5	P46	第4章 分野別計画の推進	基本目標1 こども・若者 の権利と参画が尊重される まちづくり	(2)児童虐待防止対策の 充実	No.10「(仮称)赤ちゃんポ スト」の実施	アンケート調査の結果や市の実態から赤ちゃんポ ストを設置する必要性が感じられませんでした。 どういった経緯で設置しようと思われたものでしょ うか。虐待防止のために産後の子育て支援を充実 させた方がいいのではと思います。	こどもの命を守るという視点からの設置検討案 ではありますが、ご指摘のとおり、産前産後の相談 支援の充実を併せて図ってまいりたいと思いま す。	こども家庭課 子育て支援課	無	
6	P47	第4章 分野別計画の推進	基本目標1 こども・若者 の権利と参画が尊重される まちづくり	(3)子育てしやすい生活 環境の整備	No.15ボールパークの整備	とてもいいことだと思います。具体的にどのよう なところが想像できていませんが、安全に遊べ る場所になってほしいと思います。	いただいた意見を参考に、安全面に考慮して整 備してまいります。	道路公園課	無	

7	P48	第4章 分野別計画の推進	基本目標1 こども・若者の権利と参画が尊重されるまちづくり	(4) こどもが安全に育つ環境の確保	No. 19通園・通学路の安全確保の推進	子どもの通園・通学にかかる各幼稚園や保育所、小学校、中学校、高校、駅（電車利用の子ども）の周辺の歩道整備状況の点検・確認、歩道整備の促進・拡充の記載が必要と考えます。まだまだ学校や駅などの周辺で歩道が整備されていないところがあり、子どもの通園・通学に危険なため歩道整備の点検・拡充が必要と考えます。例えば日根野駅海側周辺の歩道整備など。	歩道整備を行っていくことは、歩行者の安全確保の推進に必要であると十分認識しております。新たに歩道整備するには、用地買収が伴い財政面や地権者同意の面から困難なところもあります。このため、通園・通学路の安全性を向上するために、歩道の段差解消やグリーンベルト設置など出来るところから実施していきたいと考えます。	道路公園課	無	
8	P48	第4章 分野別計画の推進	基本目標1 こども・若者の権利と参画が尊重されるまちづくり	(4) こどもが安全に育つ環境の確保	No. 22学校・園の安全確保を図る取り組みの推進	以前意見提案箱でも送りましたが、やっぱり誰でも入れる可能性があるのは怖いことだと改めて思っています。SNSでは、日本の小学生の登下校の様子（人気がないところでも一人で歩いている姿）を撮影した動画が海外で話題になっていたり、日本の子どもの連れ去りが近年増えていることなど不安になるようなことをよく目にします。それらは本当のことかは不明ですが、中学で日本人学校に通うこともが殺害されるようなこともあり、空港が近く海外の方が多く滞在する泉佐野市では何が起るかわからないくらいに用心しておいてもいいと思います。	外国文化や情報化社会を考慮し、園児・生徒の登下校の安全確保に努めてまいります。	子育て支援課 学校教育課	無	
9	P50	第4章 分野別計画の推進	基本目標2 切れ目のない保健・医療体制の整備	(1) 妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進	No. 32乳幼児健康診査等の充実	5歳児健診の検討または5歳児健診の実施についての記載が必要と考えます。5歳児健診の有益性や重要性については、実施自治体からすでに多くの知見があがっています。また、こども家庭庁においても自治体の積極的実施の推進、全国展開を目指すとしています（国の1／2補助あり）。泉佐野市においても積極的な取り組みを望みます。	5歳児健診の実施には課題も多いですが、前向きに検討してまいります。また、本市ではこれまで実施しているこども園等の巡回相談や1歳6カ月健診、3歳児健診の機会において、発達に関する問診項目を活用し、引き続き早期支援を行ってまいります。	こども家庭課	無	
10	P52	第4章 分野別計画の推進	基本目標2 切れ目のない保健・医療体制の整備	(2) 食育や思春期保健対策の推進	No. 43学校・園における食育活動	「栄養教諭を中心に」とありますが、泉佐野市に栄養教諭は何人いるのでしょうか。今後増えるのでしょうか。小学校13校中学校5校の計18校あるうち4名しかいない栄養教諭に取組みの中心を任せるのは負担が大きく食育を進めるのは難しいのではないのでしょうか。将来的に小学校給食を自校方式や親子方式に移行していくのなら最低でも調理場のある学校には栄養教諭を確保していかないと泉佐野市の食育は進まないと思います。他市では市費で栄養士を全校配置にしているところもあります。財政的に難しいのだと思いますが、数少ない栄養教諭だけに任せっきりにせず市の教育委員会として食育をどう進めていくのか考えていってほしいです。栄養教諭のいる学校とそうでない学校で差のでないようにするために、例えばアレルギー対応ができる学校とそうでない学校がでないようになど、市全体で同じ対応をしていってください。特に来年度は今ある給食センターと3か所の学校調理場が存在することになり、栄養教諭2人では調理の安全も確保できないのではないかと危惧されます。学校給食が安全に運営できるように市としてどうしていくのか、それもこどもまんなか社会の実現のためにどうするのか知りたいです。	市内の市立小中学校には栄養教諭は小学校2名、中学校2名の計4名が在席しております。現在、小学校給食をセンター方式から自校方式（一部親子方式）へ移行する事業を実施中ですが、そのなかで全ての小学校に栄養教諭を配置し、市教育委員会として食育を推進することを計画・検討しております。したがいまして、施設完成順に栄養教諭を一名ずつ配置することで市全体の食育を推進して行く計画をもとに検討を進めています。	教育総務課 学校教育課	無	

11	P52	第4章 分野別計画の推進	基本目標2 切れ目のない保健・医療体制の整備	(2)食育や思春期保健対策の推進	No.47性情報に対する学習機会の充実	国・文部科学省が推進している「生命（いのち）の安全教育」を市内の全幼稚園・小学校・中学校での実施についての記載が必要と考えます。近年の情報通信技術の発達など、子どもの性を取り巻く環境も大きく変化しており、低年齢児童からの性教育が必要と考えます。性教育の拡充が今後必要ではありますが、少なくとも国が全国の学校への実施をうたっている「生命（いのち）の安全教育」（子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないために）を泉佐野市においてもする実施する意義は大きいと考えます。	いただいた意見のとおり、「生命（いのち）の安全教育」を踏まえ、性教育を推進していくことが重要だと考えていますので、計画に反映します。	学校教育課	有	（修正前） 大阪府からの研修会の案内を学校へ送付し、積極的な参加を呼び掛けます。 （修正後） 子どもたちが最新の性情報を学ぶことができるよう、教員が大阪府の研修会へ積極的に参加することを呼びかけます。また、「生命（いのち）の安全教育（文部科学省）」等の教材を活用し、 小学校低学年から 発達段階に応じた学習の機会を充実させるよう支援します。
	P72		基本目標6 若者が自分らしく成長できる環境づくり	(1)次代の親の育成	No.143性教育・家庭科教育の充実					（修正前） 外部機関（医師、ゲストティーチャー）と連携した取り組みを行っている学校等を他校に紹介するとともに、道徳科等の他教科とも関連させながら各校の性教育・家庭科教育の一層の充実を図ります。 （修正後） 外部機関（医師、ゲストティーチャー）と連携した取り組みや「生命（いのち）の安全教育（文部科学省）」等の教材の周知を図ることで、 小学校 低学年段階から道徳科等の他教科とも関連させながら性教育・家庭科教育の一層の充実を図るよう支援します。
12	P54	第4章 分野別計画の推進	基本目標3 支援を必要とするこども・若者へのきめ細やかな取り組みの推進	(1)障害のあるこども・若者の支援の充実	1行目	「早期発見・早期療育体制を整備していくことが重要」とありますが、具体の事業がなくどのような体制をつくっていくのでしょうか。	本市では市内認定こども園・小学校への巡回相談など、アウトリーチ型の療育体制を整備しています。 また、改正児童福祉法の施行により、市立児童発達支援センターについては、障害児支援の中核的な役割を担う機関であることが法的にも明確にされており、こどもと家族に対する支援の充実とあわせて、地域全体の障害児支援体制の充実強化を図るため、専門人材の増員を図るとともに、地域の障害児支援事業所・保育所等を含む関係機関等との連携体制を確保しながら、こどもと家族に対する専門的な支援・包括的な支援に取り組んでいます。令和8年度に市立児童発達支援センターの移転建替を予定であり、更なる機能の充実を図ることとしています。	子育て支援課 こども家庭課	無	
13	P55	第4章 分野別計画の推進	基本目標3 支援を必要とするこども・若者へのきめ細やかな取り組みの推進	(1)障害のあるこども・若者の支援の充実	No.63医療的ケア児とその家族の支援	医療的ケア児童および保護者への支援に関する支援拠点施設の整備についての記載が必要と考えます。医療的ケア児童および保護者への支援に関する泉佐野市における支援拠点機関・施設を整備していく必要があると考えます。	医療的ケア児童および保護者に対する支援施設を整備する計画は現時点ではございません。今後も、需要と財源の把握に努めながら引き続き研究してまいります。	子育て支援課	無	
14	P63	第4章 分野別計画の推進	基本目標4 子育て支援サービスと就学前教育・保育の充実	(1)切れ目のない子育て支援の充実	No.95一時預かり（一時保育）事業	市報などで一時預かりをしている園を紹介してくださっていますが、園に問い合わせたところ受け入れできないと言われる園が多いと聞きました。園の体制が不十分なんだろうと思いますが、いくつも問い合わせるのは大変なのでできないなら市報などに記載しないでほしいです。	市報は行政サービス情報を発信する有効な手段であるため、記載しないことは現時点で考えておりません。一方で、受け入れや問い合わせに対する体制が不十分である旨の意見に対しましては、デジタル化等の手法も含めまして、今後も検討してまいります。	子育て支援課	無	
15	P63	第4章 分野別計画の推進	基本目標4 子育て支援サービスと就学前教育・保育の充実	(1)切れ目のない子育て支援の充実	No.99地域子育て支援拠点事業	わたぼうしをよく利用していますが、予約がとれません。つくしんぼは予約なしでも行けますが人数が多すぎてこどもがのびのび遊べないので利用しなくなりました。ひなたぼっこはなぜか利用者が少ないのでとつてものびのびと過ごせています。ただ、ひなたぼっこを利用した数日後に手足口病にかかり流行していた時期だったので園での感染を疑ってしまいました。そういったこともあり利用を控えている方もおられるのでしょうか。わかりませんが、支援センターが増えることはとてもありがたいです。	令和6年度に開設したひなたぼっこの認知度が低いことが考えられますので、周知してまいります。また、併せまして、市内子育て支援施設での感染症対策を徹底してまいります。	子育て支援課	無	
16	P64	第4章 分野別計画の推進	基本目標4 子育て支援サービスと就学前教育・保育の充実	(1)切れ目のない子育て支援の充実	No.100育児等健康支援事業・乳幼児育成指導事業（とつとこくらぶ）	聞いたことのない事業でした。Web検索してもできません。	遊びや交流を通じて、保護者への育児支援を行う事業で、相談支援の中で参加の案内を行っております。今後、Web等でも周知してまいります。	こども家庭課	無	

17	P65	第4章 分野別計画の推進	基本目標4 子育て支援サービスと就学前教育・保育の充実	(1) 切れ目のない子育て支援の充実	No.107子育てポータルサイト(「子育て応援なび」)	こちらに「とっとこくらぶ」の紹介があってもいいと思いました。他の課の事業でも子育て支援の事業ならまとめて情報提供してほしいです。他にも子どもで出かけられる先に市の支援センター以外の末広公園の子育て広場や谷口病院のマタニティホールなど掲載することは難しいのでしょうか。Facebookを開設されているとのことでも私もフォローはしていますが、研修などの開催の事後報告やおたよりの報告が多く知りたい情報はあまりありませんでした。私はまだ低月齢の子どもを連れて行ける場所を知りたくてInstagramで情報を収集し、市外の魅力的な場所をたくさん知りそちらへ行ってきました。支援センターで他のお母さん方と情報交換するのはそういったことが多かったです。若い方は特にFacebookは使わないと聞くので、情報提供媒体も考えた方がいいのではと思います。	いただいたご意見を参考に、Facebook以外のSNSの活用を含め、子育て支援情報を広く周知できるよう検討してまいります。	こども家庭課 子育て支援課	無	
18	P69	第4章 分野別計画の推進	基本目標5 こどもの成長に資する教育環境の整備	(2) 家庭や地域の教育力の向上	No.128 家庭教育に関する学習機会の提供	アンケート調査の結果でもあったように、就学前の保護者は食事、教育、発達について相談したいと思っている方が多いです。私も初めての子育てでわからないことも多かったので、Instagramを中心に情報収集して子どもの成長によさそうなことを探してやっていますがやっぱり市外に行くことが多かったので、市内でもそういった機会があればいいと思います。	子育て支援センターなどの施設をはじめ、情報提供手法を検討してまいります。	生涯学習課	無	
19	P69	第4章 分野別計画の推進	基本目標5 こどもの成長に資する教育環境の整備	(2) 家庭や地域の教育力の向上	③こどもにふさわしい環境整備のための活動	No.131、No.132どちらの事業もこどもにふさわしくない環境をなくすための取り組みですが、ふさわしい環境を増やす取り組みもお願いしたいです。例えば、泉佐野市には大きなショッピングモール類がいこうもーと日根野イオンの2か所ありますが、どちらにもゲームセンターがありそこで親子で楽しんでいる光景をよく見ます。楽しい場所なのでたまにはいいと思うのですが、他に親子で行ける屋内の遊び場はありますか？私があつたらいいと思うのは木育のできる室内の遊び場ですが、大阪で存在を知っているのは茨木市のもつくるです。他には親子でくつろげる場所、例えば和泉市の私立こども園が運営している子育て支援カフェも素敵なところです。また、大きなスーパーの2階や近くに親子でくつろげる場所をつくってもいいと思います。コープの近くの竈池公園はもっと過ごしやすい工夫をすればいいのになと思っています。そういった場所があるからこそ、ふさわしくないとされる場所に行く機会も減と思うので、こどもにふさわしい環境を増やす取り組み、民間委託や誘致なども含め、是非お願いします。	本市では市庁舎周辺整備工事を進めており、新たに建設する(仮称)みらい安心センター内に、市民交流スペース、こども図書館、地域子育て支援センター、親子で遊べる屋内遊戯室などを設置する予定としております。	子育て支援課	無	
20	P70	第4章 分野別計画の推進	基本目標5 こどもの成長に資する教育環境の整備	(3) こどもの居場所づくり	No.137自習スペースの提供	どの校区にもあればいいなと思います。ただ、校区ごとに場所を決めるのではなくどの場所でも利用できるようになればと思います。	需要と財源の把握に努めながら検討してまいります。	生涯学習課	無	

21	P80	第4章 分野別計画の推進	基本目標8 こども・若者と子育て家庭を支える地域づくり	(1) 子育て支援のネットワークづくり	①地域の就学前施設における子育て支援活動の充実 No. 181～187	未就学児およびその保護者の遊び場・集いの場としての拠点施設の整備の記載が必要と考えます。 色々な機関がそれぞれ遊びの場などを開設していますが、未就学児およびその保護者が常時利用できる遊びの場の拠点施設が必要と考えます。泉南市が設立した乳幼児の遊びの広場りるぱ（SENNAN LITTLE PARK）のような施設があればと考えます。	本市では市庁舎周辺整備工事を進めており、新たに建設する（仮称）みらい安心センター内に、市民交流スペース、こども図書館、地域子育て支援センター、親子で遊べる屋内遊戯室などを設置する予定としております。	子育て支援課	有	P47に記載の事業を以下のとおり修正します。 No. 15公園施設整備事業とNo. 16ボールパークの整備をまとめてNo. 15として記載し、No. 16に新たに「市庁舎周辺整備事業」を追加。 （修正後） ■No. 15施策・事業名「公園施設整備事業 ボールパークの整備」 施策・事業の概要、今後の方向「こどもが安心して安全な公園を利用できるように、公園遊具のハザードの回避やこども・子育て支援機能強化に係る施設整備など、公園施設の適切な整備、維持管理を進めます。こどもたちや親子など球技を好む人々が安心してボール遊びができる専用の施設（ボールパーク）を整備します。」 担当課「道路公園課」 ■No. 16施策・事業名「市庁舎周辺整備事業」 施策・事業の概要、今後の方向「市民サービスの向上を目指し、地域子育て支援センター、こども図書館（自習室）等のこども・子育て支援機能強化に係る施設を設け、多様化する市民ニーズに応える庁舎を整備します。」 担当課「総務課」
22	P81	第4章 分野別計画の推進	基本目標8 こども・若者と子育て家庭を支える地域づくり	(1) 子育て支援のネットワークづくり	No. 186公立認定こども園行事開放	初めて知りました。育児教室や遊びの教室には行っていますが、聞いたことがありません。	コロナ禍で実施できていない期間があり、今後実施に向けて検討しているところです。	子育て支援課	無	
23	P81	第4章 分野別計画の推進	基本目標8 こども・若者と子育て家庭を支える地域づくり	(1) 子育て支援のネットワークづくり	No. 189 子育てサロン	子育てサロンは子育てのしおりか何かで見ている存在は知っていますが、各地区になくて違う地区の子育てサロンに行ってはいけないかと思っていました。どのようなことをするのか、違う地区でも行っているのかも合わせて記載していただけたらと思います。私もそうですが、電話をかけるのが苦手な方もいると思うので、電話しないといけないのならもうやめておこうとなってしまいます。これもどんなことをしているのか毎回ではなくても紹介をしていただけたら敷居は低くなると思います。No. 190にある私立認定こども園の先生方が子育てサロンに出向いてくださるというのも最近知り、それなら行けばよかったと後悔しています。	いただいた意見をもとに、記載方法等を検討してまいります。	社会福祉協議会 地域共生推進課	無	
24	P82 P83	第4章 分野別計画の推進	基本目標8 こども・若者と子育て家庭を支える地域づくり	(2) こどもの健全育成	各事業について No. 191～197	先にも書きましたが、こどもの権利について知らないのはこどもだけではなく大人もだと思えます。こどもと交流をするおとながこどもの権利を守れないということも起こることが危惧されます。特にジェンダー関連のことは高齢の方で固定観念が強いのではないのでしょうか。男だからとか女だからとかといった発言は安易に出やすいものなので、交流をされるおとなの方へはしっかりこどもの権利について知っておいてほしいと思います。ジェンダーにかかわらず、こどもはいろんなことで傷つくので、交流によって傷つくことのないようにしてほしいです。	ジェンダー問題を含め、全世代に対する「こどもの権利」の啓発を継続してまいります。	子育て支援課	無	

25	P90	第5章 子育て支援事業の見込みと確保方策	3地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	(2)放課後児童健全育成事業		現在、子育て事業として行われている留守家庭児童会は泉佐野市全体で13施設で運営しています。学校児童が減少する中、留守家庭児童会を利用する児童は増加しています。運営は委託で、各施設順次施設の改善や支援員の確保に努めていただいています。しかし、各留守家庭児童会の規模は様々で最も大規模施設は、利用者が300人を超えようとしています。留守家庭児童会の定員は概ね40人以下とされていますが、これは8倍以上の児童が在籍することになります。この大規模留守家庭児童会は建物は学校の校庭に独立して建てられたものですが、トイレは学校の体育館のトイレを借りています。また、教室は2部屋とプレイルームという構成になっていますが、一斉に昼食をとる際はテーブルが足りず床にシートを引いて食べている状態です。これで子どもの安全を確保できるでしょうか、保護者が安心して子どもを預けることができるでしょうか、不安でなりません。一刻も早くこの状態を改善しなければ、大きな事故が起こってからでは遅すぎます。泉佐野市は待機児童をださないことを掲げて事業を行っているので、留守家庭児童会児童の定員をせらすことはできません、それならば学校の教室を間借りさせていただくか、近隣の公民館の一部を利用させていただくかできないでしょうか。学校と留守家庭児童会を担当する部門が違ったりと難しいことがあるとは思いますが、早急にご検討いただき、改善していただけますよう、よろしくお願いいたします	本市の留守家庭児童会については、専用施設や学校の空き教室を利用して、運営しております。ご意見にもありますように、児童数は減少する中、留守家庭児童会の利用者数は増加しており、受け入れスペースの確保が課題となっております。専用施設や空き教室だけでは対応できない場合は、学校の空き教室のさらなる確保、もしくは、利用している教室をタイムシェアする、公民館等の他施設を利用する等、さまざまな方法を検討しております。今後とも、留守家庭児童会の利用者が安心・安全に利用できるよう、引き続き受け入れスペースの確保に努めてまいりたいと考えております。	学校教育課	無	
26	P95	第5章 子育て支援事業の見込みと確保方策	3地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	(11) 利用者支援事業		どのような支援のことなのかよくわかりませんでした。	市域に基幹型包括支援センター1ヶ所および中学校5圏域に地域型包括支援センターを設置し、母子保健を含む包括的な相談援助業務を実施しています。	こども家庭課	無	
27	P101	第6章 計画の推進に向けて	2 市民・関係機関・団体との連携	(1)市民参加・参画の促進		この計画を作成するにあたって、当事者であることもや若者の意見をもっと取り入れるべきではなかったのかなと思いました。今後、ワークショップを開催したり、支援学校含む学校園に職員の方が直接出向いて話を聞いたりして、当事者の意見をしっかり組み込んだ事業を展開していってください。また、パブリックコメントの募集もLINEを登録していたから知りましたが、知らない方も多いと思います。市役所に行かなければ実物を閲覧できないので、図書館など利用者が多い場所でも閲覧やパブリックコメント募集の告知をすればいいのではと思います。	本市では、本計画策定にあたりこども未来議会やアンケート等を通じてこども・若者の意見を取り入れてきました。今後も、子育て関連施設の支援者等の意見やこども・若者の意見を反映する取り組みを検討してまいります。また、パブリックコメントについては、市役所情報公開コーナー及び子育て支援課において閲覧できるほか、市ホームページよりダウンロードすることにより閲覧可能となっています。広報媒体については、市ホームページ、市公式LINE、子育て支援課facebook、こども部のXを活用し周知してまいりましたが、ご意見参考に広く周知できるよう検討してまいります。	子育て支援課	無	
28	P103	資料編			泉佐野市子ども・子育て会議委員名簿	どのような方が泉佐野市のこどもたちのために話し合いこの計画をつくったのが気になります。名前を掲載するのが難しいのならば、学識者や所属、その他の方は肩書だけでもわかれば安心です。	委員名簿を資料編として巻末に記載予定です。また、令和6年度第1回泉佐野市子ども・子育て会議の資料として泉佐野市ホームページに掲載しています。	子育て支援課	有	資料編に名簿を記載します。
29	その他					泉佐野市が今取り組んでいることや今後予定されていることで、この計画に記載がないのはなぜだろうと思ったものがいくつかあります。 ①オーガニック給食 ②小学校給食の自校方式、親子方式への転換 ③みらい安心センター こどものためにしていることならば記載があってもいいのではと思いました。	ご指摘の通り、①②食生活に対する意識の向上、③快適で安全な住環境づくりとして計画に位置付けてまいります。	教育総務課 総務課	有	①②についてP51～52に記載の事業を以下のとおり修正します。 ■No. 39母子栄養管理事業（ファミリー教室）とNo. 40離乳食講習会の充実をまとめてNo. 39に母子栄養管理事業（ファミリー教室）・離乳食講習会の充実として記載。 ■No. 41乳幼児期からの食育の推進とNo. 44食育の推進をまとめてNo. 40食育の推進として記載。 ■No. 41～44まで番号を上詰め。 ■新たにNo. 45オーガニック給食推進事業とNo. 46学校給食自校方式施設整備事業を追加。 (修正後) ■No. 45施策・事業名「オーガニック給食の推進」 施策・事業の概要、今後の方向「SDGsの観点から、化学農業・化学肥料を使用しないことで環境に配慮して生産されている有機農産物（オーガニック農産物）を使用したオーガニック給食を、すべての市立小中学校で提供します。」 担当課「教育総務課」 ■No. 46施策・事業名「食育指導の推進や質の高い安全・安心な給食の提供を目的に、自方式校（一部親子方式）の給食調理室を各小中学校に整備します。」 担当課「教育総務課」 ③についてP47に以下の事業を追加しています。 ■No. 16施策・事業名「市庁舎周辺整備事業」

30	その他					①こどもや若者など当事者の思いをしっかりと聞いてください アンケート調査だけでは十分に意見を把握できないと思います。ワークショップや職員訪問をしたり、または学校園や支援センターなど普段当事者と関わっている方からの情報収集も有効的だと思います。	本市では、本計画策定にあたりこども未来議会やアンケート等を通じてこども・若者の意見を取り入れてきました。今後も、子育て関連施設の支援者等の意見など、こども・若者の意見を反映する取り組みを検討してまいります。	子育て支援課	無	
31	その他					②こどもの権利をこどもだけでなく市民全体へ周知してください 普段こどもと直接かかわる仕事をしている人だけではなく、市役所職員全体でしっかりと子どもの権利を理解したうえで、市民にも広めていただけたらと思います。	庁内での職員への啓発活動を検討するとともに、おとな、こども、関係機関に広く啓発できる手法を検討してまいります。	子育て支援課	無	
32	その他					③こどもの健全な成長にふさわしい環境づくりをしてください。 公園や屋内の遊び場（ゲームセンターなどではないもの）を整備していただけたら嬉しいです。今ある公園も遊具が古かったり、小さなこども向けのものではなかったりするので整えてほしいです。また、図書館ももっとこどもが利用しやすいような場所になればと思います。他市の図書館に行くと、小学生や中学生が集まって宿題や勉強をしている姿をよく見ます。市の環境によりこどもの学習意欲にもつながると思いますので、よろしくをお願いします。	本市では市庁舎周辺整備工事を進めており、（仮称）みらい安心センター内に、市民交流スペース、こども図書館、地域子育て支援センター、親子で遊べる屋内遊戯室などを設置する予定としております。	総務課	有	P47に記載の事業を以下のとおり修正します。 No. 15公園施設整備事業とNo. 16ボールパークの整備をまとめてNo. 15として記載し、No. 16に新たに「市庁舎周辺整備事業」を追加。 （修正後） ■No. 15施策・事業名「公園施設整備事業 ボールパークの整備」 施策・事業の概要、今後の方向「こどもが安心して安全な公園を利用できるように、公園遊具のハザードの回避やこども・子育て支援機能強化に係る施設整備など、公園施設の適切な整備、維持管理を進めます。こどもたちや親子など球技を好む人々が安心してボール遊びができる専用の施設（ボールパーク）を整備します。」 担当課「道路公園課」 ■No. 16施策・事業名「市庁舎周辺整備事業」 施策・事業の概要、今後の方向「市民サービスの向上を目指し、地域子育て支援センター、こども図書館（自習室）等のこども・子育て支援機能強化に係る施設を設け、多様化する市民ニーズに応える庁舎を整備します。」 担当課「総務課」
33	その他					④未就学のこどもを連れて出かけられるところを充実させてください 中学校区ごとの支援センターはありがたいです。それ以外でも河内長野市のあいくつのような無料で利用できる場所、有料でも泉南市のりるば、高石市のハグッドのような場所ができれば、いつでもこどもを遊ばせられ、いつでも悩みを相談できるので助かる方が多いと思います。家庭教育を充実させるにはこういった場所から学ぶことも多いと思うのでお願いします。	本市では市庁舎周辺整備工事を進めており、（仮称）みらい安心センター内に、市民交流スペース、こども図書館、地域子育て支援センター、親子で遊べる屋内遊戯室などを設置する予定としております。	総務課	有	同上
34	その他					⑤情報提供の方法の改善をお願いします 子育てポータルサイトを見れば、手続きや困ったときの相談をだけではなく、親子でかけられるところを全て知れるといったようになってほしいです。こどもがまだ低月齢のころ、こどもを抱いて寝かしてそのままスマホを片手にこどもと行けるところはどこかないかと調べていました。インスタを見たり、他市の友だちから聞いたその市のサイトを見たりしていると、やっぱり泉佐野市のポータルサイトはわかりにくく感じます。他の課の事業かもしれませんが、子育てで役立つ情報、公園マップなどもわかればいいなと思います。	子育てポータルサイトにつきましては、いただいたご意見を参考に、利用しやすい、わかりやすい内容や掲載方法等を検討してまいります。	子育て支援課	無	